

災害対策用機械操作訓練見学会を開催しました！

防災対策官

8月28日(火曜日)、千歳川上流地区河川防災ステーション(千歳市駒里)にて災害対策用機械操作訓練見学会を、管内自治体職員等の関係者を招いて開催しました。

操作訓練は、災害発生時に迅速に運用できるよう定期的に実施されています。今回は、自治体によりの確に出動要請を行っていただくために、災害対策用機械が使える現場条件や出動要請方法等の説明を含め、操作訓練を見学していただきました。自治体の職員は、機械の機能や操作方法について質問するなど、熱心に見学されていました。

概要の説明



照明車は、夜間の災害復旧作業などを支援し、約400m先でも新聞が読めるほどの明るさを確保します。

排水ポンプ車は、洪水時に排水作業を行う機械で、発電機・照明装置・クレーン装置も搭載しています。



1秒で500リットル(お風呂2杯分)の排水を行う能力を有します。